

令和2年度

事業報告

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会

目 次

はじめに	2
1. 市民による支え合い活動の推進	3
(1) 新・草の根事業の包括的な見直しに向けた取り組み	
(2) 新たな地域支え合い活動の仕組みづくり	
(3) 新たな地域課題への対応	
(4) 地域福祉活動の担い手確保の促進	
(5) 制度外サービスの展開	
(6) 市社協ならではの子育て支援	
(7) 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の推進	
(8) 赤十字活動への協力	
2. 高齢者、障がい者等の権利擁護	6
(1) 福祉サービス利用援助事業	
(2) 法人による成年後見（法人後見）事業	
(3) 成年後見利用促進にかかる支援、協力	
3. 低所得者への支援	7
(1) 生活困窮者自立支援事業	
(2) 生活福祉資金貸付事業	
(3) たすけあい資金貸付事業	
4. ボランティア等市民活動の振興と支援	9
(1) ボランティア等市民による公益活動の推進	
(2) 社会福祉法人等との協働による公益的取り組みの推進	
地域での福祉教（共）育の実施	
5. 災害時支援等の実施	10
(1) 災害時支援の実施	
(2) 東日本大震災に伴う避難者支援と被災地支援活動への協力	
6. 相談事業の推進	11
(1) 窓口相談、心配ごと相談、地域あんしん相談	
7. 介護及び障がい福祉サービス事業の推進	12
(1) 共通事項	
(2) 居宅介護支援事業所	
(3) 障がい児・者相談支援事業	
(4) 訪問介護事業	
(5) 通所介護事業（デイサービスいずみ、松山）	
(6) 地域包括支援センター（にいだ）事業	
8. 広報活動、顕彰、慰霊事業の実施	16
(1) 広報活動	
(2) 顕彰事業	
(3) 酒田市戦没者追悼式（平和のつどい）の開催	
(4) 10年目のキャンドルナイト	
9. 第4期地域福祉活動計画の策定	17
10. 適正な法人運営と施設管理等の推進	18
(1) 法人運営全体	
(2) 地域福祉センターと八幡やまゆり荘の管理・運営	
(3) 福祉バス・日赤福祉バス・やまゆり号の運行	
(4) 市社協所有山林及び駐車場の市移管協議	
(5) 財源の確保及び基金の有効活用	
(6) 八幡・松山・平田支部運営	
(7) 関係会議への出席等	
むすびに	20

令和2年度 事業報告

はじめに

今、地域社会を取り巻く環境は、少子・高齢化の進行や人口減少、過疎化、家庭や地域での支え合い機能の弱まりなどを背景として、貧困や虐待、ひきこもり、孤独（孤立）死、自殺など、地域のなかでの孤立を起因としたさまざまな生活問題（課題）が深刻化しています。

私たちが暮らす酒田市でも、人口減少、少子高齢化が進行しており、高齢化率は令和3年3月末で36.3%となっています。高齢者だけで生活する世帯は、約1万3百世帯（民生児童委員の福祉ニーズ調査）と年々増加傾向にあります。これに過疎化や孤立化、認知症の問題が加わると、通院や買い物、日常生活のちょっとしたことに支障をきたす高齢者の増加が心配になります。また、生命や財産に関する権利擁護もいっそう大きな課題になってきます。これらのことは、高齢者に限ったことではなく、障がい者などにも共通することです。

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大や度重なる自然災害の影響により、社会・経済状況が極めて厳しくなっています。この状況が長く続くことで、人と人の社会的つながりがさらに希薄化し、貧困や虐待、日常生活支援等、生活問題（課題）がますます深刻化することが懸念されます。感染防止を図るために身体的な距離を取りながらも、支え合いという社会的なつながりを持ち続けることは、とても大変なことではありますが、この厳しい時代を乗り越えるためには、一人ひとりが「我が事」として捉え、できる活動を工夫しながら取り組むことが重要となってきています。

酒田市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）は、このような状況認識のもと、平成28年度を計画実施の初年度とする第3期地域福祉活動計画（平成28年度から令和2年度までの5年間の計画）を踏まえながら、

①公的な性格を持つ民間福祉団体として、行政や地域住民、団体、事業者等の活動をつなぐ。

②自らも具体的な活動を提唱し、実践する。

③地域包括支援センターや介護サービス事業と連携し、地域福祉を推進する。

ことを基本として、市社協の強みを活かしながら、地域福祉事業や介護サービス事業の展開、適切な法人運営に取り組んできました。しかし、中には新型コロナウイルス感染防止対策のために中止、延期する事業もあり、十分な事業の取組ができなかった点もあったかと思いますが、皆さまにも情報提供をしながら、特に新・草の根事業の助成に関しては、柔軟な対応に努めてきたところです。

一連の市社協事業を実施するにあたっては、市関係課はもとより、学区・地区社協、自治会、コミュニティ振興会、民生児童委員、福祉協力員の皆様、関係機関・団体・事業所の皆様から多くのご協力を賜りました。ここに改めて感謝を申し上げつつ、以下、令和2年度事業をご報告いたします。

1 市民による支え合い活動の推進

(1) 新・草の根事業の推進

* 市社協の基本組織であり事業活動の基本単位である学区・地区社協とともに、以下の6つの事業に取り組みました。

- | | |
|--------------|----------------|
| ◆学区・地区社協運営事業 | ◆見守りネットワーク支援事業 |
| ◆合同研修事業 | ◆ふれあい給食事業 |
| ◆地域あんしん事業 | ◆地域交流サロン事業 |

- * 新型コロナウイルス感染拡大が広がり、活動の自粛を要請される中、草の根事業の進め方について、感染状況に応じて、随時各地区へ周知を行う（第1報～第9報）とともに、各地区の活動の参考となるように、本会会報を通して、工夫をしながら、活動に取り組んでいる事例を紹介しました。
- * ふれあい給食では、会食方式による実施の自粛とともに、調理中の「密」を避けるため、手作りではなく業者の弁当、軽食、飲料などに切り替えを可能とし、給食配付の際には、短時間での訪問をお願いしました。また、合同研修会等では手指消毒や換気を徹底し、3密を避けるために参加者同士の間隔を確保するなどの対策を取るよう要請しました。
- * 新・草の根事業補助金については、感染拡大防止に必要な物品等の購入や今後の事業実施に備えるための消耗品、備品購入を認めるとともに、次年度への繰越しも認めるなど柔軟に対応しました。

(2) 新たな地域支え合い活動の仕組みづくり

- * 琢成学区「よろずや琢成」、日向地区「日向ささえあい除雪ボランティア」、南遊佐地区「マイ夢の里プロジェクト」、松陵学区「松陵いこいの場」など、地域支え合い活動推進事業で、過去に立ち上げ支援をしてきた事業については、継続して市社協職員が運営会議に参加、情報提供を行いました。
- * 若浜学区、北平田地区、田沢地区などで支え合いの仕組みづくりや地域づくりの話し合いに協力しました。
- * 市まちづくり推進課を中心として実施している地域計画（プラン）づくりについて、ワークショップを実施した西荒瀬地区・上田地区へ参加し、話し合いの促進役を担いました。
- * 地域包括支援センターの生活支援コーディネーターの課題別グループに参加し、地域支援の連携の構築や第一層生活支援体制整備協議会の開催に向けた支援を行いました。

(3) 新たな地域課題への対応

- *自殺予防、引きこもり、消費者被害（悪質商法）、出所者など刑余者への対応、住居荒廃や多頭飼育崩壊（ゴミ屋敷・ネコ屋敷）など、各課題を支援する保健、消費生活、司法、更生保護、衛生の関係機関や団体が主催する相談会・研修会の周知、情報提供に協力しました。また、関係会議への参加などを通して、これらの機関・団体との連携を強化しました。
- *生活困窮者自立支援事業、福祉サービス利用援助事業を通じた相談では、多様化・複雑化する課題や制度の狭間の問題に対応する場面が多くなっており、逐次、関係機関・団体などと協働して、相談・支援を実施しました。
- *市が検討を進める重層的支援体制整備の一つである総合的な相談支援体制の協議に市社協職員が参加し、地域支援を推進する立場から検討・協議に協力しています。

(4) 地域福祉活動の担い手確保の促進

- *手話奉仕員養成講座や高齢者疑似体験事業、秋のボランティア体験事業を行い、福祉教育や福祉の担い手育成に取り組みました。
- *福祉協力員の任期満了に際して、各学区地区に対し、推薦依頼を早い時期からお願いし、人員の確保に努めました。

(5) 市社協ならではの制度外サービスの展開

- *市社協が実施する社会福祉法人の「地域における公益的な取り組み」の一環として、生活困窮者に対するフードバンク事業を引き続き行いました。令和2年度は、共同募金の助成制度を活用して、食品収納庫及び提供用の食料品を購入しました。また、県の補助事業により、提供用の食料品の購入やフードバンクのチラシを作成し、社協会報「ふれあい」とともに全戸配布しました。これにより、企業等から、非常用備蓄食料品をフードバンクに提供するケースが増えてきています。
- *買い物支援等を目的として、地域福祉センターを会場に市内の障がい者就労事業所より協力をいただき、弁当やお菓子などを販売する「満福市にいだ」を開催しました。

(6) 市社協ならではの子育て支援

- *子ども食堂や子育て支援団体に対し、補助金等の助成情報の提供や活動の広報周知の支援を行いました。
- *食料品を寄付したいという相談があった際、子ども食堂を運営している団体などへマッチングを行いました。

方々に対し、新たに義援金の受付を行いました。(令和2年度各種災害義援金総額782,209円)

- * 新型コロナウイルス感染拡大により、マスクが不足した時期(5月)に酒田市赤十字奉仕団から市販マスクと手づくりマスクをあわせて、約1,160枚の寄贈をいただき、市内の学童保育所に配付しました。
 - * 市内で住宅火災が2件発生し、見舞金、日用品セットと毛布を支給しました。
 - * 今後とも事業内容やお金の使われ方等について、自治会、コミュニティ振興会に丁寧な説明を行い、日赤県支部とともに赤十字活動への理解を深めていきます。
- (注)「日本赤十字社山形県支部酒田市地区」は、平成18年度に酒田市から市社協に事務局を移管しております。

2 高齢者、障がい者等の権利擁護

(1) 福祉サービス利用援助事業

- * 認知症や知的、精神の障がいなどで判断能力が不十分な方々の権利擁護の一環として、以下のサービスを行いました。

- ◆ 福祉や介護等の公的サービス、助け合いなどの私的サービスの利用
手続き相談、つなぎ
- ◆ 公共料金や生活費、サービス利用料等の日常的な金銭管理
- ◆ 預金通帳や土地権利書など重要書類の保管 など

- * 本事業は、県社協の委託事業であり、市社協は基幹的社会福祉協議会として専門員、支援員を配置しています。
- * 毎年専門員、支援員は、利用者へのよりよいサービス提供を目指し、エリア会議の開催、また県社協等が実施する研修会等に参加し、資質向上に努めてきましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため実施できませんでした。
- * 地域包括支援センターやケアマネージャーなどの関係機関から相談が増加したため、相談から契約へ直結する件数が増えています。令和2年度末では利用者数が126件となりました。
- * 今後も認知症高齢者、一人暮らし高齢者の増加や家族関係の希薄化などにより、さらに利用者は増加していくものと見込まれることから、引き続き受任体制の強化が課題となっています。

(2) 法人による成年後見(法人後見)事業

- * 福祉サービス利用援助事業の利用者の判断能力が低下した場合や家屋等財産管理の課題がある場合などで、市長が後見等開始を申立する事案が増加しています。
- * 令和2年度末で12名受任していますが、受任にあたっては、市社協に設置した

受任検討委員会を開催して受任の可否を判断するとともに、後見業務の適正を期すため、成年後見事業業務審査委員会を組織しています。

- * 法人後見業務の内容は、以下のとおりですが、福祉サービス利用援助事業と同様、認知症高齢者の増加などにより、本事業の利用は伸びてきております。昨年度の新規受任件数は3件、死亡により終了した方は2名でした。今後、継続的に受任できる体制の強化が課題となっています。

- ◆医療・介護・福祉など生活面における身上監護
- ◆預金や不動産などの財産管理
- ◆契約の締結・解除 など

(3) 成年後見利用促進にかかる支援・協力

- * 国は全市町村に対し、令和3年度末まで「成年後見センター」を設置するよう求めています。これは、成年後見制度を必要とする人が制度を利用できるよう地域連携ネットワーク体制を構築し、そのコーディネーターや事務局を担う中核機関となるものです。
- * 地域住民の成年後見制度の相談対応を行うとともに、県主催研修会（10月30日法人後見実施社協情報交換会）や厚生労働省委託事業研修（2月5日後見人等への意思決定支援研修）などにオンラインで参加、情報収集に努めました。

3 低所得者への支援

(1) 生活困窮者自立支援事業

- * 市と県（庄内町・遊佐町を管轄）から業務委託を受け、地域福祉センター内に「生活自立支援センターさかた」を設け、相談対応しました。
- * 新型コロナウイルス感染症の影響により減収した世帯が増えたことから、例年に比べ相談者数が大幅に増えました。国などによる支援制度に沿いながら対応しました。
- * 年間の新規相談者実数は、酒田市490名、庄内町27名、遊佐町が13名、合計530名（前年度比282名増）でした。
- * 新規、継続を合わせた延べ相談対応件数は、酒田市・庄内町・遊佐町合わせて、3,634件（前年度比1,807件増）でした。
- * 相談対応方法は、電話1,758件、来所面談1,443件、訪問170件、同行62件、メール・郵送201件でした。
- * 相談対応の内容については、「収入・生活費」と「生活福祉資金に関すること」が多く、この2つで全体の半分以上を占めました。次いで「仕事探し・就職」「家賃・ローン」が多く、その他にも「病気、健康、障がい」「住まい」「債務」「家族関係」

「ひきこもり」等、幅広い内容の相談が寄せられました。

- *相談支援にあたっては、相談者が抱える課題や状況の把握に努め、本人の意思を確認し、個々人の状態に合わせて進めるよう心がけました。課題解決のための支援プランを相談者と協力して策定しました。また、支援調整会議を開催し、支援内容について確認するとともに、より有効な支援策について協議しました。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、例年に比べ少ない開催となりましたが、相談者への対応は関係機関と相談、連携しながら進めました。
- *就労支援の状況は、ハローワーク等への同行、相談者の希望やスキルと求人のマッチング等、伴走型の支援を心がけました。令和2年度は酒田市54件、庄内町11件、遊佐町2件が就労に結びついています。
- *各関係機関や公共施設へパンフレットを配置、市広報・市社協会報・市社協ホームページ等への情報掲載、出前講座等により、本事業及び自立支援センターの周知に努めました。
- *緊急時の対応として、平成28年1月にコープ東北サンネット事業連合と食料品の無償提供の協定を結び、食料支援ができる体制を継続しています。また、市内の多くの企業や団体等より食料品等の提供をいただいております。フードバンクとして支援が必要な方に提供しました。令和2年度のフードバンク提供件数は、酒田市124件、庄内町18件、遊佐町2件、合計144件でした。
- *大型連休・年末年始中の相談に対応するため、臨時窓口を開設しました(5/4、12/29、12/30)。

①職員体制

- ◆所長1名(兼務)、副所長1名(兼務)
- ◆主任相談支援員1名、相談支援員1名、就労支援員1名配置

②支援調整会議

- ◆行政、関係機関との支援調整会議の開催(2回)

③周知・広報

- ◆事業周知のため酒田市広報相談欄に掲載(毎月1日号)
- ◆酒田市社協会報ふれあいに周知記事掲載(年3回)
- ◆パンフレットの作成と関係機関への配置
- ◆ホームページへの掲載等

(2) 生活福祉資金貸付事業

- *本事業は、県社協からの委託を受けて実施しており、県社協や民生児童委員と連携して進めています。
- *新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和2年3月から生活福祉資金の特例貸付が新設されました。そのため、借入相談が大幅に増加し、特例貸付を含む生活福祉資金全体の申請件数は400件(前年度37件)でした。

- *生活福祉資金の償還指導にあたっては、引き続き、生活の状況把握に努め、一人ひとりの状況に応じた対応を心掛けました。

(3) たすけあい資金貸付事業

- *市福祉課との連携のもと、生活保護受給者及び生活保護申請受理見込者で、緊急かつ不時の出費を要する世帯に対し、資金の貸付を行いました。
- *償還については、市福祉課による適切な指導を要請し、償還が滞ることのないよう常に実態調査に努めました。
- *「生活困窮世帯（生活保護受給者、見込者以外）」に対する貸付では、生活自立支援センターさかたの支援を受けることを条件に貸付けを行いました。令和2年度の貸付件数110件（前年度92件）のうち、生活困窮世帯への貸付は48件（前年度41件）でした。
- *「生活困窮世帯」に対する償還については、移動手段が乏しい方に対して振り込みによる償還を促したり、訪問による集金などの対応を行いました。
- *たすけあい資金は、貸付額が償還額を上回っており、貸付の原資が減少しています（令和2年度末現在高686,853円、令和元年度末925,653円）。

4 ボランティア等市民活動の振興と支援

(1) ボランティア等市民による公益活動の推進

①酒田市ボランティア・公益活動センターの運営

- *夏のボランティア体験事業は、新型コロナウイルスや子どもの夏休み短縮の影響で実施できなかったため、規模を縮小し、秋のボランティア体験事業として実施しました。また、ボランティア団体、市民活動団体の交流会は中止しました。
- *「地域共創コーディネーター」養成研修をボラポートさかた職員が受講予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から研修が中止となりました。
- *「ボランティアコーディネーション力3級検定」研修をボランティア・公益活動センターが開催するとともに、ボラポートさかた職員2名、市社協職員4名が受講し、全員検定試験に合格しました。
- *情報発信については、「ボラポートさかた通信」（年9回発行）やホームページ、登録者へのメール一斉送信、SNS等様々な方法を利用し、ボラポートさかたを知ってもらうためのPR、興味を持ってもらうための工夫をしました。また、登録団体が発行するおたよりをボラポートさかたのホームページに掲載し、登録団体の活動状況の周知に協力しました。
- *企業のCSR活動の相談窓口として活動の情報発信やコーディネートを行い、新たな地域福祉活動の創出につなげました。

②福祉関係事業の受託

- *市からの委託を受け、公益活動の取り組みを応援するための「公益活動支援補助

金」の採択団体審査、市民を対象とした「手話教室」、市内の小中学校での「高齢者疑似体験事業」の運営、「元気シニアボランティア事業」の登録者管理等の業務を行いました。

- * 酒田市文化芸術推進プロジェクト会議、市主催の「いいいろ いろいろ展（障がい者アート展）」をSAKATAアートマルシェの一環として開催しました。本事業にボラポートさかた職員も事務局として参加しました。当日受付等ボランティアの募集を行い、33名の方から協力していただきました。

③ボランティア活動保険加入の推進

- * 市社協（地域福祉センターと市社協各支部）とボラポートさかたで加入手続きや保険に関する相談対応などを行いました。ボランティア活動保険の加入者は6,055人（前年度6,816人）でした。

④被災地支援活動を行う個人、団体への協力

- * 県社協からの要請を受け、令和2年7月最上川豪雨災害により被害を受けた大蔵村の支援のため、ボランティアバスを運行しました。災害ボランティア8名、市社協職員2名が現地で支援活動を行いました。また、被災地支援に必要な古タオルの寄付を募集し、多くの市民の方から寄付をいただきました。

(2) 社会福祉法人等との協働による公益的取り組みの推進 地域での福祉教（共）育の実施

- * 市社協が主催し、「地域における公益的な取組」に関する情報交換、連携した取り組みの協議を行う「酒田市社会福祉法人連絡会議」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面で開催しました。
- * 地域住民や学校から申込を受け、集会、事業や授業等に法人職員を講師として派遣、福祉や福祉教（共）育に関する講座を提供する「ふくし出前講座・ふくし共育出前講座」を令和2年6月から開始しました。開始から令和3年3月末までに「寸劇を通じた介護サービスや制度の説明（講師；かたばみ会）」、「健康講座（講師；友和会）」、「成年後見制度や自立支援事業の解説（講師；市社協）」など18講座を実施し、地域での学びの機会の拡大に努め、好評をいただいています。

5 災害時支援等の実施

(1) 災害時支援

①災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施

- * 市社協は、本市で災害が発生した場合、市の要請を受けて、あるいは市社協の判断で、災害ボランティアセンター（以下「災害VC」という。）を設置することになっています。そのため、地域福祉センターの防災訓練と併せて、災害VCのレイアウト訓練を実施しました。災害VC設置場所について、今後、関係機関と協議していきます。

* 災害VCに関する研修会に参加し、知識や技能の習得に努めました。

②災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの精査

* 新型コロナウイルス感染症対策として、全国社会福祉協議会等で推奨しているWEBによる事前受付のシステムなど、新しく運用されている災害ボランティアセンターの申し込みの仕組みについて調査を行いました。

(2) 東日本大震災に伴う避難者支援と被災地支援活動への協力

①東日本大震災による本市避難者への支援の継続

* 避難者生活支援相談員2名体制で、引き続き相談員を中心に、避難者世帯の訪問、交流の場づくり、情報紙の発行、各種相談などを行いました。また、市や県、県社協、支援団体等との連携に努めました。

②被災地支援活動への協力

* 県社協からの要請を受け、令和2年7月最上川豪雨災害により被害を受けた大蔵村の支援のため、ボランティアバスを運行しました。災害ボランティア8名、市社協職員2名が現地で支援活動を行いました。また、被災地支援に必要な古タオルの寄付を募集し、多くの市民の方から寄付をいただきました。(再掲)

* 東日本大震災被災地の福祉作業所の缶バッチ等の製品の販売を行い、復興応援に協力・支援を継続しました。

* 東日本大震災や令和2年7月山形県豪雨災害等で被災された方々に対し、義援金の受付を行いました。(令和2年度各種災害義援金総額 782,209円)(再掲)

6 相談事業の推進

(1) 窓口相談、心配ごと相談、地域あんしん相談

* 地域福祉センター並びに各支部で、随時、窓口相談を行いました。

* 心配ごと相談は、人権擁護委員に相談員をお願いし、毎月第1・第3・第5火曜日(9:00~12:00)に地域福祉センターで実施しました。

* 令和2年度の心配ごと相談所(地域福祉センター)の開設日数は、15日(中止6日)、寄せられた相談件数は、5件(前年度比2件減)となりました。

* 新・草の根事業メニューの地域あんしん事業による相談については、それぞれの学区・地区社協の実情に応じて、各コミュニティセンター等で実施したほか、サロン活動での相談、ふれあい給食事業での相談訪問など、柔軟な活動についても取り組みを試みました。

* 市が検討を進める重層的支援体制整備の一つである総合的な相談支援体制の協議に市社協職員が参加し、地域支援を推進する立場から検討・協議に協力しています。(再掲)

7 介護及び障がい福祉サービス事業の推進

(1) 事業共通

①サービスの向上・業務改善

- * 介護サービス事業及び障がい福祉サービス事業の実施にあたっては、地域福祉部門を有する社協ならではの特性を活かして、行政及び市社協内の部署の垣根を越えた協力・連携のもとに、生活困窮者などの地域課題解決を包括的に支援するという視点を持ちながら事業を実施しています。
- * 認知症になっても安心して過ごせる地域づくりを進めるため、訪問介護や通所介護でサービス提供を行う際やケアプランの作成等にあたって相談する際には、認知症に対する市民の理解が深まるような説明を心掛けています。

②職員の質の向上

- * 利用者本位のよりよいサービスを提供するために、内部研修の実施や外部研修への積極的な参加を通じて、職員の資質向上を図っています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大での研修機会を確保するため、事業所内にインターネット環境を整備し、各種のオンライン研修に参加しました。

③事故防止・災害対策

- * 新型コロナウイルスの感染拡大や自然災害等の緊急事態の発生に際して、被害を最小限に抑えつつ事業の継続や早期復旧を図ることを目的に、「新型インフルエンザ等発生時における事業継続計画」及び「自然災害発生時における事業継続計画(震災編)」を策定しました。
- * 国の新型コロナ感染緊急包括支援事業を活用し、各事業所において新型コロナウイルス感染防止のための環境整備を行いました。

④収益の改善

- * 介護報酬の改定等の厳しい経営環境の中、介護サービス事業の収益改善に向けて、経営上の課題の抽出や分析を行って必要な対策を講じるとともに、経費の節減を図った結果、令和元年度に続いて黒字の収支とすることができました。引き続き、安定した収益の確保に向けて経営の見直しを行ってまいります。

(2) 居宅介護支援事業

①サービスの向上・業務改善

- * 利用者の自立支援を第一に、利用者及び家族との十分な意思疎通を図りながら、ケアプランの作成から見直し、評価まで適切なケアマネジメントに努めています。
- * 酒田市からの「期限を定められた急を要する認定調査」の依頼に対して、10名のケアマネージャーを配置し、迅速かつ適切に対応したことで、酒田市からの事業所の評価を高めました。
- * 転送電話を活用し、休日や夜間等の緊急の要件に対して24時間対応しました。
- * 飛島を担当する唯一の居宅介護支援事業所として、定期的に渡航し、飛島在住の

介護認定者に対して継続してケアマネジメントを行いました。

- * 地域包括ケアの推進については、「ちょうかいネット」を活用することにより得られる正確な情報を根拠に、医療その他関係機関の専門職と連携するとともに、地域住民や民生児童委員等と協力しながら、利用者の生活を支える取り組みを行っています。

②職員の質の向上

- * 令和2年4月に設立された「酒田市主任ケアマネージャー部会」に参画し、研修会の企画や運営への協力を通じて「酒田市のケアマネジメントの質の向上」等に努めました。

③収益の改善

- * 令和3年2月より特定事業所加算Ⅰを取得し、介護報酬の増収を図りました。また、退職・異動に伴う欠員に際し、正職員2名の採用により事業の継続と収益の確保を図りました。
- * 担当ケースの状況を的確に記録し、地域包括支援センターや行政、病院等の問い合わせに適切に対応したことで、新規ケースの獲得に繋がっています。
- * 重点項目とした「標準担当件数90%以上」については、ケアマネージャー1人当たりの標準担当件数35件を基準として106%を達成しました。

(3) 特定相談支援事業、障がい児相談支援事業

①サービスの向上・業務改善

- * 令和2年度から、相談支援専門員を2名（介護支援専門員との兼務）として体制の充実を図り、障がいがあっても住み慣れた地域で生活を続けることができるよう、介護保険サービスとの連携等により、切れ目のない支援を行いました。
- * 生活自立支援センターさかたや多職種との連携を図ることで、障がいのある生活困窮者世帯やひきこもり者等の情報を共有し、包括的で継続的な支援に努めました。
- * 酒田市障がい者福祉会との連携により、同行援護を希望する視覚障がい者への制度説明や利用に伴う情報提供を通じて、視覚障がい者の社会参加への支援を行いました。
- * 共に働く共生社会を目指し、障がいがあっても働く意欲のある方への支援として、企業にトライアル雇用された障がい者の就労定着支援を継続して行いました。

②職員の質の向上

- * 相談支援部会や各種外部研修は、新型コロナウイルス感染予防対策のためオンライン研修となりましたが、積極的に参加し、知識・技術の向上を図り、ケアマネジメントの資質向上に努めました。

③収益の改善

- * 令和2年度に担当職員が「強度行動障がい支援者養成研修」を受講したことで「精神障害者・行動障害者支援体制加算」を取得し、専門性と質の高い相談支援を提供できる事業所として増収を図っています。

- *障がい児相談支援の新規利用者確保のため、酒田市自立支援協議会「児童部会」に積極的に参加して、事業所のPRと情報把握に努め、小学生2名と新たに中学生1名の相談支援に結びました。

(4) 訪問介護事業、障がい児・者訪問介護事業

①サービスの向上・業務改善

- *利用者が自らの能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、個々の目標を踏まえた介護計画書を作成し、必要な支援を行いました。
- *受入れ事業所の少ない介護予防・日常生活支援総合事業A型（家事援助）と障がい者の移動支援と同行援護サービスの新規受入れに努め、利用者のニーズに応えました。

②職員の質の向上

- *新型コロナウイルスの影響で外部研修への参加機会が減ったため、オンライン研修を積極的に活用し、研修成果を毎月のヘルパー研修会で共有することで、職員の全体のレベルアップを図りました。

③収益の改善

- *ヘルパー不足とそれに伴う介護収入の減収に対しては、新たに3名のヘルパーを採用し、利用者のニーズに応えながら収入増につなげることができました。
- *障害福祉サービスでは、専門性の高い人材を配置した質の高いサービス提供体制の整備によって「特定事業所加算Ⅱ」を取得し、収入増を図りました。

(5) 通所介護事業（デイサービスセンターいずみ、デイサービスセンター松山）

①サービスの向上・業務改善

- *利用者の状態に合わせた食事や入浴等の日常生活上の支援を行うとともに、軽体操やレクリエーション等による心身機能の維持向上と孤立感の解消、家族の介護負担の軽減を図っています。
- *「認知症になっても支えがあればその人らしく生活できる」の目標を掲げ、可能な限り在宅での生活が維持できるように、家族への支援も合わせながら、寄り添う介護を心掛けています。【認知症対応型】
- *地元の食材を使ったバランスのとれた温かく美味しい食事の提供を当事業所の強みとして、利用者満足度の向上に努めました。
- *老朽化した浴室の給湯設備やホールの空調設備、照明等を更新し、利用者が快適に利用できるよう環境の整備を行いました。

②職員の質の向上

- *事業所内の定期的な研修や外部機関の専門的研修等への参加を通じて、介護知識の習得と介護技術のレベルアップに努め、サービスの質の向上を図りました。

③事故防止・災害対策

- *送迎時の事故防止のため、朝のミーティングや職員会議等を通じて、交通法規の

順守と安全運転の励行を徹底し、利用者が安全安心に通所できるよう努めています。

- *地震の発生時に、利用者及び職員が安全かつ適切に避難ができるよう、毎年、定期的に避難・通報・消火訓練を実施しています。また、デイサービスセンターいずみにおいては、洪水時の避難確保計画に基づく避難訓練も実施しています。

④地域共生

- *地域との連携を深めながら、事業運営の透明性の確保とサービスの質の確保を図ることを目的に、利用者の家族や地域の自治会長、ボランティア、地域包括支援センター職員等で構成する「運営推進会議」を年2回開催しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、1回は文書による報告となりました。

【認知症対応型】

⑤収益の改善

- *新規の利用者増に繋げるため、施設での利用者の様子や事業所の取り組み等を掲載した広報紙を作成し、利用者や家族、居宅介護支援事業所に配布してPRしています。

(6) 地域包括支援センター（にいだ）事業

- *市の委託事業である「総合相談」、「権利擁護」、「介護予防ケアマネジメント」、「包括的・継続的ケアマネジメント」の取り組みを通じて、担当生活圏域（浜田学区、若浜学区、飛島地区）の高齢者の状況把握と高齢者が抱えている生活・身体上の課題解決に努めています。
- *要援護高齢者やその家族等の立場に立った相談を心掛け、必要な保健・福祉・介護サービスと権利擁護に関する支援を行いました。また、ゴミ屋敷や虐待などの地域課題の把握に努め、関係者との情報共有や連携を図りながら、包括的かつ継続的な対応に努めています。

【総合相談】

- *ワンストップサービスの拠点として、65歳以上の高齢者に対する相談だけでなく、それ以外の方の相談を受け付けた際も、適切な機関・制度・サービスに繋いでいます。

【権利擁護】

- *高齢者虐待をはじめ、8050問題や生活困窮、成年後見、消費者被害、ゴミ屋敷等多様かつ複数の課題を抱えているケースに対して、行政や本会地域福祉課などの関係機関、関係部署と連携を図りながら、解決に向けた支援を行いました。
- *認知症などにより、コミュニケーションが困難な状態にあたり、判断能力が低下したりした人の権利を守るために、成年後見制度の利用に向けた支援等を行いました。
- *地域のサロンや福祉専門職の研修会にて講話を行い、高齢者虐待防止の普及啓発に努めました。

【介護予防ケアマネジメント・指定介護予防支援事業】

- * 高齢者とその家族、関係機関、介護サービス事業所、主治医等と適宜必要な情報交換と連携に加え、「ちょうかいネット」による医療情報の活用により、自立に向けた目標志向型プランの策定に取り組みました。

【包括的・継続的ケアマネジメント】

- * 圏域内の居宅介護支援事業所の介護支援専門員の実践力向上支援として、年1回の研修会の開催を継続しています。
- * 個々の介護支援専門員から対応困難ケースについて相談があった際は、行政をはじめとする関係機関を含めた個別ケース会議の開催や同行訪問、今後の対応について、一緒に検討し、課題解決に向けた支援をしました。

【地域包括ケアシステム推進】

①地域ケア会議推進事業

- * 新型コロナウイルスの感染が拡大している中において感染症対策を十分に行った上で、自治会単位での地域ケア会議や個別ケア会議を開催しました。地域または個別の課題を把握し、解決に向けた検討、ネットワークづくりに取り組みました。

②介護予防・日常生活支援総合事業

- * いきいき百歳体操や地域のサロンの開催を継続して支援しています。課題となっている活動の担い手確保についても、引き続き地域と協力しながら支援していきます。

③在宅医療・介護連携推進

- * 在宅医療・介護連携推進業務運営会議へ出席し、各医療機関や医療機関の相談担当部署とのネットワーク強化に努めました。

④生活支援体制整備事業

- * 生活支援体制整備協議会の委員として、行政や市社協・他の地域包括支援センターの生活支援コーディネーターと情報共有及び連携・協働し、住民主体の生活支援体制づくりに取り組みました。

⑤認知症総合支援事業

- * 担当圏域内の民間の法人や企業（2カ所）に出向き、社員向けに認知症サポーター養成講座を開催したほか、市が開催する認知症カフェの運営を支援しました。
- * 認知症初期集中支援チームへの協力、徘徊高齢者への支援として安心おかえり登録の登録申請手続きや警察と情報共有を行いました。

8 広報活動、顕彰、慰霊事業の実施

(1) 広報活動

【会報ふれあい】

- * 市社協事業や学区・地区社協の取り組み、赤い羽根共同募金事業などを掲載した会報「ふれあい」を年3回発行しました。

*より多くの人に見ていただけるように、会報編委員会を設けることや視覚障がい者のための「声の会報」を作成すること、中学生から題字「ふれあい」を書いてもらうなど工夫に努めました。

*各地区の活動の参考となるように、会報を通して、新型コロナウイルス感染拡大の中でも工夫をしながら、活動に取り組んでいる事例を紹介しました。(再掲)

【その他の広報活動】

*「ボラポートさかた通信」を年9回発行しました。(再掲)

*広報紙以外にも、リーフレット、ホームページ、SNS（フェイスブック、ツイッター）等を利用し、情報が幅広く周知されるよう努めました。

(2) 顕彰事業

*11月25日(水)酒田市総合文化センターを会場に、市主催の前田福祉賞表彰式と合わせて市社協表彰式を開催しました。

*市社協表彰は、長年地域福祉活動に尽力され、顕著な功績をあげられた方を対象とするもので、令和2年度は、自治会長、民生児童委員、遺族会、学区・地区社協福祉協力員、ボランティア活動を続けてこられた方々17名、1団体を表彰しました。

*感謝状については、長年ふれあい給食調理ボランティアとして活動された7名の方と社会福祉協議会の事業に協力・援助いただいた1組に対し、贈呈しました。

*第70回山形県・県民福祉大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、市関係者では、県知事表彰を8名、県知事感謝状を1名、大会会長表彰を17名が、それぞれ受賞しました。

(3) 酒田市戦没者追悼式(平和祈念のつどい)の開催

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

(4) 10年目のキャンドルナイト(東日本大震災追悼の集い事業)について

*東日本大震災で亡くなられた方々への慰霊と復興祈願を目的として、例年、生涯学習施設「里仁館」、東北公益文科大学、市と協力して、3月11日夜にキャンドル点灯を行っています。

*令和2年度は、震災から10年目の節目の年でもあり、新型コロナウイルス感染拡大の中でも多くの市民の方の参加をいただくため、「10年目のキャンドルナイト in 酒田」と銘打ち、リモートで市内一斉点灯を実施しました。

9 第4期地域福祉活動計画の策定

*当初、令和2年度中に策定、3年度より計画期間の開始を予定していた第4期酒

田市地域福祉活動計画は、新型コロナウイルス感染拡大により、「意見聴取会」が開催できなかつたため、策定年度を令和2～3年度の2か年に延長しました。

- * 令和2年度は、広く市民の意見や要望を地域福祉活動計画に反映させるため、市担当課（福祉課）と共同で「地域福祉に関するアンケート調査」を実施しました。
- * 令和3年3月より随時、市民の意見や要望を聴取する「意見聴取会」を各学区・地区社協の協力で実施しており、3年度中の完成を目指して、市民と共に計画策定を進めています。

10 適正な法人運営と施設管理等の推進

(1) 法人運営全体

- * 社会福祉法の改正による社会福祉法人制度の見直しについては、社協自らも社会福祉法に規定されている公的な性格を持つ民間福祉団体（社会福祉法人）であり、組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の確保など、一層の自覚を持った組織運営の強化に努めています。なお、各年度の市社協事業報告・資金収支決算については、理事会及び評議員会の承認を得られ次第、速やかにホームページで公表しています。
- * 理事会、評議員会のほか、総務財政部会、地域福祉・ボランティア部会、介護保険部会、共同募金部会の4専門部会を開催し、市社協の方針等について意思決定、協議を行いました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大により、5月、6月開催時は書面決議、12月開催時は1月に延期して開催しました（12月開催時には、一部部会を中止）。
- * 事業所安全衛生委員会を定期的に開催し、産業医の助言を受けながら、職員の健診や受診の促進とその後のフォロー、インフルエンザ予防接種補助、職員のストレスチェックなど、労働安全衛生に関する必要な措置を講じました。さらに、職員研修を兼ね、AEDの操作講習、交通安全講話を実施しました。
- * 新型コロナウイルス感染拡大の中でも、職員の研修機会を確保し、資質向上が図れるようオンライン研修の環境を整えました。

(2) 地域福祉センターと八幡やまゆり荘の管理・運営

- * 地域福祉センターの管理・運営は、市からの受託事業として取り組んでいます。例年、福祉関係者・入居団体をはじめとする多様な福祉活動、市民活動に利用されていますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、利用者のご理解をいただきながら、一時使用中止、人数制限等を行いました。その結果、地域福祉センターの令和2年度の貸館利用者数は、645件（前年度比339件減）6,602人（前年度比7,357人減）となりました。
- * 市社協では、団体・事業所等から寄贈された車いすを活用し、貸出事業を行っています。地域福祉センターでは、令和2年度は延べ64台の貸出を行い、一時外

出や通院などに利用いただきました。

- *やまゆり荘は、市社協直営施設として管理・運営を行いました。地域福祉センターと同様に、感染防止のための利用制限を行った結果、令和2年度の貸館利用者は、137件（前年度比16件減）、333人（前年度比461人減）となりました。

（3）福祉バス・日赤福祉バス・やまゆり号の運行

- *福祉団体、福祉関連団体の学習・研修活動、福祉活動等に利用していただくことを通して本市の福祉向上を図ることを目的として、市からの委託を受けて（やまゆり号は市社協所有）運行しています。
- *福祉バス等についても、新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、利用者のご理解をいただきながら、一時使用中止、人数制限等を行いながら運行しました。その結果、令和2年度は、3台合わせて延べ73回（前年度比229回減）、1,083人（前年度比5,603人減）の利用となりました。

（4）市社協所有山林及び新たに整備した駐車場の市移管協議

- *八幡地区にある市社協所有の山林（昭和63年寄贈）について、山林の適正管理・保全能力等の観点から、その対応が課題となっています。
- *平成23～24年度にかけて整備した地域福祉センター駐車場の市への移管と合わせ、解決に向けた協議を継続します。

（5）財源の確保及び基金の有効活用

- *社協会費並びに共同募金の配分金は、貴重な自主財源として組織運営及び地域福祉事業に充当されており、市民や法人事業所等の方々のご理解・ご協力が不可欠です。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、自治会長（支部では福祉推進員）及びコミュニティ振興会長への説明会を中止し、文書のみでのお願いとしました。
- *すべての社会福祉法人が公益的な取り組みに参加し、地域貢献できるようにするため、市社協として基金の有効活用等、活動資金面で支援することができないか、引き続き検討します。
- *災害復興資金たすけあい基金については、その在り方について市と協議し、廃止する方向で調整しています。

（6）八幡・松山・平田支部運営

- *各支部には正職員1名、地域福祉専門員1名、事務員1名の計3名が配置されていますが、1月より八幡支部正職員1名の欠員が生じたため、他の職員がカバー

し合いながら各支部・地区社協の地域福祉活動の取組みや地域特性を活かした活動を展開しました。

- * 八幡支部では、管内の高齢者を対象に憩いの場づくりとして、おおむね毎月3回（地区ごとには月1回）開催していた生きがい活動支援通所事業（八幡ミニデイサービス）は、新型コロナウイルス感染状況を確認しながら、事業を縮小して開催しました。
- * 松山支部では、市総合支所、地域包括支援センターまつやま、関係団体と連携を深めながら実施している「松山いきいきくらぶ」を5回開催し、合わせて小規模作業所の商品販売会の支援を行い、外出の機会確保、閉じこもり防止を図りました。また、中高年男性の仲間づくりや地域の担い手づくりとして「おとこかれーくらぶ」を8回開催しました。
- * 平田支部では、地域包括支援センターひらたと合同で、一人暮らし高齢者世帯等を訪問し、現在の困りごと、生活状況や健康状態等を把握し、必要な福祉サービスの情報提供を行いました。
- * 福祉サービス利用援助事業や生活福祉資金貸付事業など本部の業務が拡大しているため、八幡・松山・平田支部の職員もこれらの業務を行うなど、地域福祉課職員が一体となり、情報共有しながら事業に取り組みました。

（7）関係会議への出席等

- * 自治会長（支部では福祉推進員）、コミュニティ振興会長等を対象にした研修会・説明会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、文書のみでのお願いとしました。（再掲）
- * 市自治会連合会（自治連）と共催で開催している旧市街地の新自治会長研修会では、市社協事業の概要と新・草の根事業の主要事業である見守りネットワーク支援事業について説明しました。
- * このほか、学区・地区社協の諸会議等へ職員が積極的に参加するとともに、市をはじめとする関係団体の会議へも随時参加しました。さらに、実習学生の受け入れや講演等の要請に対しても積極的に対応しました。

むすびに

以上が、令和2年度の事業実績の概要です。事業実施に当たりまして多大なご協力を賜りました皆様方に、重ねて感謝申し上げます。

冒頭申し上げたとおり、いま私たちは新型コロナウイルスの感染拡大というこれまで経験したことのない厳しい状況に直面しております。これは、地域福祉の根幹である“人と人のつながり”を揺るがしかねない重大な事態であります。

関係の皆様には、日ごろから社会福祉協議会事業について、様々な面でご協力をいただいておりますが、新型コロナウイルス感染防止のため、一部事業を自粛いただく

など、地域福祉活動に影響が出ています。

新型コロナウイルス感染の収束が見通せない中ではありますが、引き続き、市社協は「福祉でまちづくり」を進めるため、行政、地域、市民の皆様、福祉団体・関係者、事業者等とのつなぎ役、「支え合いの要」であることを意識し、自らも実践することで、その役割を果すようしっかりと取り組んでいきますので、これまでと変わらぬご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

各事業の詳細は、次のページからの事業実施概要（付属資料）に記載していますので、ご参照をお願いいたします。

令和 2 年度
事業実施概要
(付属資料)

自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会

1 市民による支え合い活動の推進

新・草の根事業

学区地区 社協	見守り支援事業			合同研修		ふれあい給食		地域交流		地域あんしん
	ネットワーク 対象者数	福祉 隣組数	福祉 協力員数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数
琢成	309	202	21	2	123	8	580	132	1,963	156
浜田	173	101	30	1	60	2	96	88	3,020	40
若浜	59	52	15	0	0	2	116	165	1,301	20
富士見	57	50	11	2	118	6	288	34	504	60
亀ヶ崎	79	80	18	2	59	6	410	45	404	54
松原	96	80	17	4	123	5	117	12	235	33
港南	41	29	9	0	0	2	22	1	12	8
松陵	80	48	15	2	81	8	296	27	757	36
泉	29	29	12	2	78	6	60	0	0	24
宮野浦	45	48	11	0	0	7	407	10	140	6
飛島	30	12	4	1	16	3	93	35	216	20
西荒瀬	34	36	24	1	30	11	242	22	246	5
新堀	39	44	11	3	83	5	156	5	96	24
広野	20	19	13	1	33	6	75	12	400	24
浜中	13	10	8	2	23	1	23	6	74	24
黒森	29	2	7	1	23	2	64	7	978	24
十坂	36	31	10	1	18	4	78	6	111	24
東平田	71	38	4	2	48	4	83	66	749	24
中平田	21	8	7	1	27	12	144	17	210	24
北平田	21	9	14	2	25	5	87	12	149	24
上田	30	25	11	2	35	6	59	14	159	96
本楯	32	32	19	3	96	8	216	105	1,246	24
南遊佐	48	33	10	2	66	5	100	2	33	24
小計	1,392	1,018	301	37	1,165	124	3,812	823	13,003	798
一條	30	28	30	1	30	2	145	28	245	20
観音寺	40	43	48	1	24	3	183	23	888	18
大沢	27	16	16	1	19	3	152	24	150	27
日向	34	27	12	4	58	5	247	48	362	17
小計	131	114	106	7	131	13	727	123	1,645	82
南部	12	20	7	1	16	6	100	74	743	3
山寺	7	7	3	1	16	2	25	24	363	20
松嶺	50	81	15	1	26	2	53	2	29	8
内郷	42	59	12	0	0	2	22	1	12	8
小計	111	167	37	3	58	12	200	101	1,147	39
田沢	56	35	6	1	27	3	250	27	270	24
東陽	229	38	13	1	40	1	35	109	851	28
郡鏡・山谷	56	13	13	2	31	2	33	74	651	32
南平田	62	15	23	2	35	0	0	12	170	36
砂越・砂越緑町	70	50	3	2	48	2	64	48	655	18
小計	473	151	58	8	181	8	382	270	2,597	138
合計	2,107	1,450	502	55	1,535	157	5,121	1,317	18,392	1,057

赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金活動

(1) 共同募金実績 (単位：円、%)

委員会名	目標額	実績額	達成率	未達成額
酒田市委員会	12,491,000円	11,829,027円	94.7%	△661,973円

(2) 歳末たすけあい募金実績 (単位：円、%)

委員会名	目標額	実績額	達成率	未達成額
酒田市委員会	4,000,000円	3,857,988円	96.4%	△142,012円

(3) 共同募金助成内訳

A助成（山形県共同募金会で決定される、施設、団体への助成）2,275,000円

B助成（社協への地域福祉活動助成）5,615,129円

C助成（前年度歳末たすけあい募金による助成を実施した後の余剰金）835,671円

① A助成

<p>社会福祉法人保育事業「福祉の心」（13団体）780,000円</p> <p>*報恩会保育園、*若浜保育園、*宮野浦保育園、*新堀保育園、*広野保育園、 *浜中保育園、*黒森保育園、*若宮保育園、*泉保育園、*北新橋保育園、 *西荒瀬保育園、*北平田保育園、*酒田ふたば園 (辞退：小鳩保育園、亀ヶ崎保育園、十坂こども園、アテネ認定こども園、)</p>
<p>障がい者小規模作業所支援事業（2団体）220,000円</p> <p>*支援センターふれあい工房、*多機能福祉施設こもれび</p>
<p>民間学童保育所支援事業（7団体）900,000円</p> <p>*泉第1学童保育所、*宮野浦学童保育所、*みすみっこクラブ *みさとクラブ、*新堀学童保育所、*浜中学区学童保育所、*黒森学区学童保育所</p>
<p>地域在宅・特別在宅事業（5団体）375,000円</p> <p>*ちょうかい子育て応援団、*泉学区子育て応援団、*松原学区社会福祉協議会 *亀ヶ崎社会福祉協議会、*古民家玉手箱</p>

② B・C助成

<p>福祉育成援助活動費（10団体及び市社協事業）4,662,800円</p> <p>*酒田市ボランティア連絡協議会、*平田ボランティア連絡協議会 *酒田市遺族会、*酒田市八幡遺族会、*酒田市遺族会松山支部 *酒田市平田遺族会、*酒田市自治会連合会、*酒田市民生委員・児童委員協議会連合会 *平田なごみ会、*大沢地区社会福祉協議会、*酒田市社会福祉協議会</p>

高齢者福祉活動費（4団体）339,000円 ＊酒田市老人クラブ連合会酒田支部 ＊酒田市老人クラブ連合会八幡支部 ＊酒田市老人クラブ連合会松山支部 ＊酒田市老人クラブ連合会平田支部
児童・青少年福祉活動費（16団体）580,000円 ＊NPO法人がくほれん with 酒田 ＊15法人保育園
障がい児（者）福祉活動費（15団体）749,000円 ＊NPO法人酒田市障がい者福祉会 ＊八幡身体障害者更生会 ＊松山障がい者福祉会 ＊平田身体障害者福祉協会 ＊酒田手をつなぐ育成会 ＊八幡手をつなぐ育成会 ＊松山・平田手をつなぐ育成会 ＊社会福祉法人酒田市あすなろ福祉会 ＊NPO法人支援センターふれあい工房 ＊NPO法人障がい者サポートセンターあらた ＊障がい福祉サービス事業所たぶの木 ＊NPO法人みつば ＊NPO法人支援センターなのはな畑 ＊酒田飽海鍼灸マッサージ師会 ＊NPO法人みらいず
母子・父子福祉活動費（1団体）120,000円 ＊酒田市母子福祉ねむの木会

(4) 歳末たすけあい募金助成内訳

①低所得世帯へとその児童への助成 (単位：世帯、人、円)

世帯人数	酒田支部		八幡支部		松山支部		平田支部	
	件数	単価	件数	単価	件数	単価	件数	単価
1人世帯	51	2,000	28	5,000	24	5,000	40	5,000
2人世帯	126	3,000	9	6,000	8	7,000	13	6,000
3人世帯	97	5,000	15	7,000	1	10,000	9	7,000
4人以上	86	7,000	13	8,000	1	12,000	8	8,000
児童への贈り物	407	1,000	35	1,000	3	3,000	28	1,000
合計	767	1,974千円	100	438千円	37	207千円	98	433千円
戸別募金額	100		300		300		300	

②歳末たすけあい地域福祉事業

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

※令和2年度の歳末たすけあい募金による助成合計額は、3,052,000円（2年度歳末たすけあい募金実績3,857,988円との差額805,988円は3年度のC助成）

赤十字活動

(1) 社資納入状況

年度	目標額	実績額	達成率
令和2年度	20,685,000円	18,730,427円	90.5%
令和元年度	21,241,000円	18,479,612円	87.0%

○社資納入実績内訳

一般社資		法人社資		計
会費	寄付金	会費	寄付金	
7,910,660円	10,795,940円	0円	23,827円	18,730,427円
18,706,600円		23,827円		

*会費とは、日本赤十字社の会員（住所、氏名が明確な方）として納めていただく納付金のことで、日赤山形県支部では、年額700円以上と定めている。住所・氏名が明確でない場合、または、納付金が700円未満の場合は、寄附金扱いとしている。

○支部別実績及び交付金

支部名	酒田支部	八幡支部	松山支部	平田支部	計	
実績額	15,528,327円	1,136,100円	867,300円	1,198,700円	18,730,427円	
件数	会費扱い	7,820件	1,623件	0件	1,713件	11,156件
	寄附扱い	132件	0件	1,239件	0件	1,371件
	計	7,952件	1,623件	1,239件	1,713件	12,527件
交付金	1,552,831円	113,610円	86,730円	119,870円	1,873,041円	

(2) 災害救援事業（被災状況及び見舞金、救援物資の交付状況）

区分	件数 (件)	被災者(人)	見舞金額(円)	救援物資		
				毛布	緊急セット	学用品
全焼	2	6	80,000	6	3	0
半焼	0	0	0	0	0	0
部分焼	0	0	0	0	0	0
ぼや	0	0	0	0	0	0
災害死亡者弔慰金		0人	0円			

(3) 義援金の受付（令和2年4月1日～令和3年3月31日まで）

- ・東日本大震災 他 (473,379 円)
- ・平成30年7月豪雨災害 他 (120,519 円)
- ・令和元年8月豪雨災害義援金 (32,512 円)
- ・令和元年台風19号災害義援金 (13,066 円)
- ・令和2年7月豪雨災害 (6,710 円)
- ・令和3年福島県沖地震災害 他 (136,023 円)

(4) 各種団体への助成

団体名	酒田市地区からの助成額	山形県支部からの助成額	主な活動
酒田市赤十字奉仕団	—	52,324 円	地域奉仕活動等
酒田市本楯赤十字奉仕団	—	80,000 円	清掃ボランティア等
酒田市献血推進連絡協議会	166,000 円	—	15 地区へ助成

(5) 献血実施状況

確保目標	(人)	受付 (人)	採血 (人)	達成率 (%)
200 ml	2	69	63	3150.00
400 ml	2,049	2,906	2,614	127.57
—	820,000ml	—	1,058,200ml	129.05

(6) その他の活動

- ・ 弔辞、奉呈事業資材 (ローソク) の配布 随時
- ・ 救急箱の貸し出し 1 件
- ・ テントの貸し出し 2 件

2 高齢者、障がい者等の権利擁護

福祉サービス利用援助事業

(相談内容別件数)

相談内容／相談件数	R2	R元	H30	H29
福祉サービスの手続援助	56	66	59	57
金銭管理	705	694	755	498
書類等預かり	29	10	27	3
保健サービス	1	0	0	0
医療機関	17	11	12	6
福祉サービス苦情	0	0	0	0
生活設計	34	26	23	4
本事業関係	142	83	104	94
成年後見制度に関する相談	27	19	15	5
その他	69	151	61	33
合 計	1080	1060	1056	700

○契約内容別件数

・契約種別件数

継 続	130	121	109	91
新 規	16	30	27	36
解 約	20	21	15	18
計	126	130	121	109

・契約者状況別件数

認知症等高齢者	72	76	70	69
精神障がい者	26	29	27	21
知的障がい者	21	18	18	15
その他	7	7	6	4
計	126	130	121	109

・世帯類型別件数

在宅独居	40	43	38	37
在宅同居	16	11	10	11
医療機関	9	13	12	7
老人保健施設	6	6	6	5
特別養護老人ホーム	3	5	6	7
グループホーム	22	20	19	12
ケアハウス	7	7	6	9
有料老人ホーム	14	17	17	14
その他	9	8	7	7
計	126	130	121	109

・援助内容別件数(延べ件数)

福祉サービス利用援助	126	130	121	109
日常的金銭管理サービス	126	130	121	109
書類等預かりサービス	124	128	119	106
計	376	388	361	324

・解約事由別件数

成年後見制度利用	1	2	5	1
施設入所・移行	5	2	0	0
死亡	6	12	4	8
親族への移行	4	3	3	4
本人へ返却	3	1	2	3
その他	1	1	1	2
計	20	21	15	18

成年後見事業

民法に定められた成年後見制度で、山形家庭裁判所酒田支部からの成年後見事件について法人として成年後見人の受任を行うもの。

加齢や障がいなどにより判断能力が低下した者の契約手続きなど、法律行為を代理し本人の権利を擁護する事業。

・業務審査委員会及び受任検討委員会開催状況

令和2年4月24日（金）第1回受任検討委員会 事案1件

令和2年5月1日（金）第2回受任検討委員会 事案1件

令和2年10月2日（金）第3回受任検討委員会 事案1件

令和2年12月18日（金）第4回受任検討委員会 事案1件

令和3年3月18日（木）第5回受任検討委員会 事案1件

令和3年3月24日（水）成年後見業務審査委員会

・受任状況

	件数合計	保佐	補助	後見
令和2年度新規受任件数	3	0	0	3
終了件数	2	1	0	1
現在受任件数	12	1	0	11

3 低所得者支援

生活困窮者自立支援事業（生活自立支援センター）

新規相談受付数（人）	酒田市	庄内町	遊佐町
男性	268	21	9
女性	222	6	4
合計	490	27	13

年齢層（人）	酒田市	庄内町	遊佐町
～10代	0	0	0
20代	35	1	1
30代	67	2	1
40代	106	8	2
50代	84	6	3
60～64歳	40	1	4
65歳以上	75	4	0

不明	83	5	2
合計	490	27	13

相談対応（延）	酒田市	庄内町	遊佐町
来所面談	1393	32	18
訪問	123	31	16
電話・連絡	1521	179	58
同行	49	6	7
メール	182	6	13
合計	3268	254	112

相談内容（延）	酒田市	庄内町	遊佐町
病気、健康、障がい	85	0	11
住まい	112	37	9
収入・生活費	2016	86	25
家賃・ローン	272	23	5
税金・公共料金	19	2	0
債務	110	21	0
仕事探し・就職	731	81	78
地域との関係	10	0	1
家族関係	132	21	7
ひきこもり・不登校	38	5	3
DV	4	0	7
食べるものがない	35	4	0
虐待	2	2	4
介護	3	0	0
教育資金	134	0	1
子育て	3	0	2
ゴミ屋敷	0	0	0
ペット	0	0	0
ギャンブル・ドラッグ・お酒	1	0	0
その他	82	51	4
生活福祉資金に関する事	1703		
合計	5492	333	157

支援調整会議	酒田市	庄内町	遊佐町
支援調整会議開催数（回）	2	1	1
新規支援プラン数	32	7	0
支援期間延長プラン数	6	1	0
支援プラン終結数	47	9	5

就労支援状況（人）	酒田市	庄内町	遊佐町
就職決定者	54	11	2
増収した者	9	2	0

フードバンク	酒田市	庄内町	遊佐町
食品提供者（人）	124	18	2

生活福祉資金貸付事業

資金種別	受付件数	決定件数	備 考
総合支援資金	2	2	・うち2件延長申請
福祉資金	9	9	
緊急小口資金	10	10	
教育支援資金	7	7	
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0	0	
緊急小口（コロナ）特例	239	236	・うち8件は追加申請 ・2件取り下げ、1件不承認 ・うち4件はR3年度決定
総合支援資金（コロナ）特例	104	104	・うち1件はR3年度決定 ・104件のうち42件はその後 に延長申請決定
〃 再貸付	29	28	・1件取り下げ ・うち1件はR3年度決定

たすけあい資金貸付事業

貸付件数	貸付額	返済件数 (過年度含)	返済額
110	3,792,500	225	3,553,700

4 ボランティア等市民活動の振興と支援

ボランティア・公益活動センターの運営

(1) ボランティア・公益活動推進委員会の開催

○第1回（4月21～30日）

- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議での開催
- ・酒田市公益活動推進アクションプランの進捗状況について
- ・令和元年度事業報告について
- ・令和2年度事業計画（案）について

○第2回（2月19日）

- ・令和2年度事業の進捗状況について
- ・令和3年度事業計画（案）について
- ・新たな市民協働・公益活動推進制度について

(2) ボランティア・公益活動に関する普及・啓発、人材育成、交流等

○主催事業

- ・「あなたのボランティア魂に灯をつける!!かもしれない!秋のボランティア体験」事前説明（8月3～7日、8月24日、28日、9月28日～10月2日）
・参加者32名
- ・ボランティア体験（8月1日～10月31日）・参加者43名※うち学習会のみ11名、参加団体8（のべ9メニュー）
- ・秋ボラカフェ・・・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止
- ・「しりあう・つながる・何か生まれる!!かもしれない!交流会～ボランティア・市民活動交流会～」・・・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

○共催、参加事業

- ・酒田市社会福祉協議会事業
酒田日和山公園桜まつり開催期間中の車いす無料貸出し
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から桜まつりが中止となったため、本事業も中止とした
- ・東北公益文科大学 地域共創センター主催
「ボランティアコーディネーション力3級検定」事前学習会（8月12日）、直前研修、検定試験（9月12日）・・・受験者42名
- ・酒田市文化芸術推進プロジェクト会議、酒田市主催
SAKATAアートマルシェ いいいろいろ展（障がい者アート展）」（9月15日～9月27日）・・・来場者のべ3,161名（市のイベントと同時開催）
- ・庄内地域広げようボランティアの輪連絡会議主催事業
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止
- ・NPO 運営基礎講座・NPO よろず相談会（NPO 法人やまがた絆の架け橋ネットワークとの共催）
NPO 運営基礎講座（1月15日）・・・14名参加
NPO よろず相談会①（11月25日）・・・参加団体 4団体

NPO よろず相談会②（1月25日）・参加団体 1団体

- ・酒田市東日本大震災追悼のつどい事業「10年目のキャンドルナイト in 酒田」
実行委員会主催

「10年目のキャンドルナイト in 酒田」（3月11日）・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自宅で点灯してもらえるよう市民へ呼びかけ、SNS で点灯の様子を発信した。

○相談、活動のコーディネート

ボランティア・市民活動に関すること（ボランティアをしたい、ボランティアを探している等）、団体の活動周知に関すること、補助金に関すること、ボランティア活動保険に関することなどの相談を、電話、窓口、メールなどで受け、随時コーディネートを行った。

(3) ボランティア・公益活動に関する情報発信

- ・ボランティア・公益活動センターだより 9回 各約1000部発行
- ・ホームページを活用して、最新情報を随時発信
- ・メール・FAXでの情報送信 登録団体・登録者へ

(4) 市よりの受託事業

○ボランティア・公益活動センター業務

- ・公益活動支援補助金・・・相談、申請受付、審査会開催など
- ・ボランティア・公益活動団体の紹介ブックレット発行
- ・飛島ボランティア活動支援補助金・・・相談、申請受付など

○福祉の担い手育成事業

- ・高齢者疑似体験事業 市内の小中学校10校 13回実施

○手話奉仕員育成事業

- ・手話教室の実施

手話奉仕員養成講座 全34回 参加者13名（うち 6名修了）

ステップアップ講座 全20回 参加者9名

○元気シニアボランティア事業

対象地区 琢成・松陵・浜田・若浜・亀ヶ崎・松原・港南・富士見・泉・広野・黒森・宮野浦・西荒瀬地区

登録者17名

ボランティア保険加入手続き

ボランティア活動等を行う市民の皆様が安心して活動を実施するために、全国社会福祉協議会が一括で損害保険会社と契約する保険の取りまとめ窓口として、受付事務を行いました。

(酒田支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	30	20	2463	2732
ボランティア行事用保険	4	0	延べ 240	延べ 596
福祉サービス総合補償	4	0	1263	652
送迎サービス補償	1	0	延べ 600	延べ 600
社協サロン保険	0	0	0	0

(八幡支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	1	1	8	8
ボランティア行事用保険	2	0	77	24
福祉サービス総合補償	0	0	0	0
送迎サービス補償	0	0	0	0
社協サロン保険	0	0	0	0

(松山支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	3	0	75	99
ボランティア行事用保険	0	0	0	140
福祉サービス総合補償	0	0	0	0
送迎サービス補償	0	0	0	0
社協サロン保険	0	0	0	0

(平田支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	22	1	701	735
ボランティア行事用保険	3	0	256	386
福祉サービス総合補償	0	0	0	0
送迎サービス補償	0	0	0	0
社協サロン保険	3	0	372	844

	団体数	個人	合計人数	前年度
総合計	73	22	6055	6816

5 災害対策の実施

災害時の対応と災害に備えたボランティア活動

- ・社協防災訓練（9月11日）・・災害ボランティアセンターレイアウト訓練
- ・令和2年7月豪雨被災地支援ボランティアバス運行
大蔵村（8月9日）参加者10名（内社協職員2名）
- ・日向地区除雪ボランティア（1月30日、2月13日）・・日向コミュニティ振興会、市と企画。新型コロナウイルス感染拡大防止のため関係者のみで実施。
1月30日参加者32名、2月13日参加者36名（どちらもスタッフ含む）
- ・名取市閑上地区追悼行事への協力（2月）・・灯籠絵の募集

令和2年度 避難者生活相談支援事業 会議・交流会等

4月	21(火)こんにちわサロン with 避難者相談会→ (中止)
5月	19(火)こんにちわサロン with 避難者相談会→ (中止)
6月	16(火)こんにちわサロン with 避難者相談会 19(金)庄内地域避難者生活支援相談員情報交換会
7月	13(月)避難者ケースマネジメントオンライン研修会 21(火)こんにちわサロン with 避難者相談会
8月	18(火)こんにちわサロン with 避難者相談会 25(火)被災者生活支援調整会議(山形)
9月	7(月)認知症サポーター養成講座 15(火)こんにちわサロン with 避難者相談会 18(金)庄内地域避難者生活支援相談員情報交換会
10月	5(月)やまがた避難者支援協働ネットワーク意見交換会 (オンライン会議) 20(火)こんにちわサロン with 避難者相談会
11月	12(木)酒田市関係課による東日本大震災に伴う避難世帯への全戸訪問の打合せ 17(火)こんにちわサロン with 避難者相談会
12月	15(火)こんにちわサロン with 避難者相談会→ (中止) 17(木)被災者生活支援調整会議(山形)→ (中止) 18(金)三県合同研修会・情報交換会 (オンライン研修)
1月	19(火)こんにちわサロン with 避難者相談会
2月	16(火)こんにちわサロン with 避難者相談会 18(木)全戸訪問実績状況調査・意見交換会 (オンライン会議) 19(金)庄内地域避難者生活支援相談員情報交換会
3月	被災者生活支援調整会議(書面開催) 11(木)10年目のキャンドルナイト in 酒田 (リモート一斉点灯) 16(火)こんにちわサロン with 避難者相談会 18(木)酒田市避難者生活相談支援事業連絡会議 19(金)生活支援相談員を対象としたオンライン情報交換会

*月1回、こんにちわだよりの発行をしています。

避難者生活相談支援事業活動

月		コンタクト方法						のべ 人数	合計
		電話	Eメール	来所	訪問	サロン	その他		
4	避難者	10	1		39			50	74
	支援者	13	10		1			24	
5	避難者	6			1		1	8	19
	支援者	5	5		1			11	
6	避難者	1		5	10	2	2	20	37
	支援者	8	4	1	3	1		17	
7	避難者	1		5	12	1	5	24	44
	支援者	7	7	2	2	2		20	
8	避難者	3	1	6	17	1	5	33	50
	支援者	2	5	4	2	4		17	
9	避難者	2	1	6	6	1	4	20	34
	支援者	5	4	1	2	1	1	14	
10	避難者	2		8	14		9	33	47
	支援者	6	4	2	1	1		14	
11	避難者	16	1	6	20	1	5	49	82
	支援者	16	11	3	1	2		33	
12	避難者	6	5		43		3	57	80
	支援者	13	5	2	2		1	23	
1	避難者	2			6		1	9	24
	支援者	6	8		1			15	
2	避難者	2		7	3	1	7	20	35
	支援者	7	5		3			15	
3	避難者			7	40	1	7	55	72
	支援者	11	1	1	2	1	1	17	

6 相談事業

心配ごと相談

相談内容	件数
家族に関する相談	1
生計に関する相談	0
住宅に関する相談	1
その他	3
合計	5
前年度計	7

7 介護及び障がい福祉サービス事業

居宅介護支援事業

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
給付管理数	346	350	348	341	353	346	344	335	327	314	315	320	4,039
要介護1.2	211	210	206	201	212	205	203	194	193	183	182	185	2,385
要介護3.4.5	135	140	142	140	141	141	141	141	134	131	133	135	1,654
予防支援	13	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	139
認定調査	9	14	21	14	18	18	14	12	5	9	19	20	173

障がい児・者相談支援事業

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
給付管理数	23	14	24	19	16	29	22	25	34	21	12	26	265
モニタリング	18	7	18	11	14	20	13	17	25	19	8	20	190
計画作成	5	7	6	8	2	9	9	8	9	2	4	6	75

訪問介護事業

①訪問介護利用状況

(単位：回数)

月	介護サービス				障がい福祉サービス				保険外	合計
	総合事業		身体介護	生活援助	身体介護	家事援助	同行援護	移動支援	生活支援	
	A型	従前相当								
4	129	21	387	519	89	164	11	1	16	1,337
5	131	25	405	511	93	161	12	2	17	1,357
6	130	31	431	515	98	170	24	5	15	1,419
7	140	32	468	500	67	177	18	5	25	1,432
8	124	28	438	458	96	166	19	2	18	1,349
9	147	20	460	458	97	173	23	5	16	1,399
10	145	11	465	494	111	187	30	5	20	1,468
11	148	11	487	465	105	179	29	3	20	1,447
12	194	12	593	524	106	200	13	1	33	1,676
1	177	11	636	536	97	171	7	0	29	1,664
2	186	12	582	505	93	168	13	0	19	1,578
3	216	14	640	528	104	193	16	6	33	1,750
合計	1,867	228	5,992	6,013	1,156	2,109	215	35	261	17,876
前年度	1,716	176	5,399	6,472	688	1,773	179	72	282	16,757

②訪問介護職員研修会開催状況

月	研修内容	月	研修内容
4	令和2年度事業計画と新年度体制について 新型コロナウイルス対策(防護服の実技研修)	10	調理に関する勉強会 「材料をみて何作る？」 糖尿食・腎臓病タンパク制限食を学ぶ
5	法令順守・接遇マナーについて	11	介護技術向上研修② 「オムツ交換と清拭の仕方」
6	感染症及び食中毒 食中毒予防と食品衛生について 家族がコロナウィルスになった場合の対応	12	心のマネジメント・スキルについて 「福祉職員こころの強化書～自分の中に潜む負の特性を理解する」
7	交通安全研修会 DVD 鑑賞	1	事例検討発表会 ① 在宅を継続する方の支援について ② 歩行困難の方の支援内容について ③ 訪問介護員としての支援方法を検討
8	視覚障がい者支援と同行援護について	2	「令和2年度の反省・自己評価」 「令和3年度目標・研修計画について」
9	介護技術向上研修① 「業務日誌の書き方」について	3	高齢者虐待防止について 「アンガーマネジメントと虐待防止策」

通所介護事業

①酒田市デイサービスセンターいづみ利用状況

(単位：人)

月	介 護 度 区 分									計	内 訳		稼働日数	利一日平均 用人数	利用実人員
	事業 対象	支 援 1	支 援 2	介 護 1	介 護 2	介 護 3	介 護 4	介 護 5	入 浴		食 事				
4	3	0	47	60	190	90	17	26	433	421	417	26	16.7	49	
5	7	0	42	59	194	91	22	27	442	434	425	26	17.0	49	
6	4	0	44	59	215	96	24	27	469	461	452	26	18.0	52	
7	5	0	45	72	205	101	32	27	487	481	468	27	18.0	50	
8	4	0	31	58	212	110	37	23	475	469	458	26	18.3	53	
9	5	0	33	59	201	121	44	24	487	474	467	26	18.7	54	
10	4	3	29	61	210	116	42	30	495	485	478	27	18.3	55	
11	4	4	36	63	205	124	48	28	512	459	495	25	20.5	58	
12	5	5	43	64	214	106	36	29	502	436	481	26	19.3	59	
1	4	4	36	50	199	104	29	27	453	439	435	24	18.9	57	
2	4	4	41	42	204	89	33	29	446	445	427	24	18.6	58	
3	5	5	33	70	228	100	39	26	506	498	485	27	18.7	57	
合 計	54	25	460	717	2,477	1,248	403	323	5,707	5,502	5,488	310	18.4	651	
前年度合計	38	46	741	1,101	1,959	1,524	305	288	6,002	5,683	5,939	310	19.4	689	
月平均	4.5	2.1	38.3	59.8	206.4	104.0	33.6	26.9	475.6	458.5	457.3	25.8	18.4	54.3	

②酒田市デイサービスセンターいづみ認知症対応型通所介護利用状況

(単位：人)

月	介 護 度 区 分					計	内 訳		稼働日数	利一日平均 用人数	利用実人員	
		介 護 1	介 護 2	介 護 3	介 護 4		介 護 5	入 浴				食 事
4		1	53	59	26	13	152	136	152	26	5.8	16
5		0	54	49	25	13	141	124	141	26	5.4	13
6		1	58	82	25	4	170	146	170	26	6.5	17
7		11	67	88	26	0	192	156	192	27	7.1	17
8		10	60	79	25	0	174	137	174	26	6.7	16
9		11	64	81	25	4	185	145	185	26	7.1	16
10		12	60	81	26	0	179	143	179	27	6.6	15
11		12	55	67	24	0	158	121	158	25	6.3	15
12		13	46	40	24	0	123	89	122	26	4.7	10
1		14	21	54	23	0	112	81	112	24	4.7	10
2		19	19	66	23	0	127	94	127	24	5.3	12
3		26	36	70	17	0	149	111	148	27	5.5	13
合 計		130	593	816	289	34	1,862	1,483	1,860	310	6.0	170
前年度合計		333	566	746	293	204	2,142	1,856	2,140	310	6.9	216
月平均		10.8	49.4	68.0	24.1	2.8	155.2	123.6	155.0	25.8	6.0	14.2

③酒田市デイサービスセンター松山利用状況

(単位：人)

月	介護度区分								計	内訳		稼働日数	利一日平均 用人数	利用実人員
	事業対象	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5		入浴	食事			
4	13	4	20	65	183	95	5	28	413	326	401	26	15.9	49
5	13	4	18	67	169	101	0	20	392	303	383	26	15.1	47
6	12	0	18	70	164	100	8	23	395	312	386	26	15.2	45
7	14	3	20	65	152	101	21	23	399	344	391	27	14.8	45
8	11	0	21	58	145	104	20	18	377	334	368	26	14.5	43
9	10	0	22	56	155	93	13	17	366	326	356	26	14.1	42
10	14	0	20	59	166	77	1	18	355	305	346	27	13.1	40
11	12	0	20	58	153	68	0	17	328	269	320	25	13.1	37
12	8	0	21	75	164	58	13	14	353	274	344	26	13.6	39
1	6	0	21	76	156	49	14	10	332	259	324	24	13.8	39
2	8	0	23	66	158	51	0	8	314	252	306	24	13.1	36
3	4	0	26	100	154	60	0	9	353	284	344	27	13.1	38
合計	125	11	250	815	1,919	957	95	205	4,377	3,588	4,269	310	14.1	500
前年度合計	238	50	272	1,146	1,634	915	107	300	4,662	4,200	4,497	309	15.1	562
月平均	10.4	0.9	20.8	67.9	159.9	79.8	7.9	17.1	364.8	299.0	355.8	25.8	14.1	41.7

地域包括支援センター にいだ

酒田市地域包括支援センターにいだ活動報告

◆ 予防給付に関すること (単位:件)

予防プラン作成	655
介護報酬請求	1,746
うち 委託件数	298
予防プランチェック	73
サービス担当者会議	98
サービス調整	703
その他	427
予防給付計	4,000

◆ 一般高齢者事業に関すること (単位:回)

	介護予防講座	サロン事業
運営会議	1	8
講座	2	7
その他	1	33
計	4	48
サービスBに関すること	48	
一般高齢者事業に関する事の計	100	

◆ 相談に関すること (相談者別) (単位:件)

本人	682
家族・親族	528
民生委員	133
地域関係者	36
事業所	328
医療機関	217
行政	137
その他	96
計	2,157

◆ 相談に関すること (相談対象別) (単位:件)

高 (65歳以上) 一般	1,429
高 (65歳以上) 精神	48
高 (65歳以上) 認知	586
未 (65歳未満) 一般	22
未 (65歳未満) 精神	45
未 (65歳未満) 認知	2
その他	25
計	2,157

注) 高 : 65歳以上、未 : 65歳未満

◆ 相談に関すること (相談方法別) (単位:件)

訪問	743
電話	1,180
来所	171
その他	63
計	2,157

◆ 相談に関すること (相談回数) (単位:件)

新規	368
年度初回	372
年度継続	1,417
計	2,157

◆ 1 総合相談 (単位:件)

介護保険対象サービス	619
介護保険以外	137
施設入所	104
家族問題	58
生活環境・経済問題	170
疾病・医療について	168
実態把握	286
その他	109
小計	1,651

◆ 2 権利擁護関係 (単位:件)

成年後見制度	27
高齢者虐待	50
消費者被害	9
事例検討会 (虐待など)	1
その他	13
小計	100

◆ 3 包括的・継続的 (単位:件)

1 支援困難事例	93
2 サービス担当者会議	6
3 ケアプラン作成相談	16
4 ケアマネ支援	48
5 退院支援	66
6 その他	114
小計	343

◆ 4 介護予防ケアマネジメント (単位:件)

予防プラン作成	0
サービス調整	47
その他	16
小計	63

◆ 相談内容合計 (単位:件)

1 総合相談	1,651
2 権利擁護関係	100
3 包括的・継続的	343
4 介護予防ケアマネジメント	63
合計	2,157

8 広報活動、顕彰、慰霊事業

広報活動

酒田市社協会報「ふれあい」の発行

号 頁	48号 (R2. 6. 15 発行)	49号 (R2. 10. 1 発行)	50号 (R3. 3. 15 発行)
表紙	・酒田市ボランティア・公益活動センター愛称「ボラポートさかた」に決定	・赤い羽根共同募金助成先紹介(黒森「みんなの居場所古民家玉手箱」)	・日向ささえあい除雪ボランティア
2	・令和2年度事業計画、予算概要	・赤い羽根共同募金活動開始(令和3年度助成先募集、令和2年度助成先の紹介等)	・コロナ禍こそ、地域の見守り、支え合い(地域での見守り協力依頼、学区・地区社協活動紹介)
3	・社協会費、日赤会費協力依頼		
4	・赤い羽根共同募金 令和3年度助成先募集	・CSR(企業の社会的責任)活動紹介	・福祉関係表彰受賞者の紹介
5	・ふくし出前講座・ふくし共育出前講座紹介		
6	・社協の相談窓口	・令和元年度決算報告 ・理事・監事・評議員紹介	・赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金への協力者・団体の紹介
7		・ちょこっと PHOTO 社協&お知らせ(大蔵村災害ボランティア支援、義援金受付) ・相談窓口(生活自立支援センター等) ・ご寄付ご寄贈の報告	・お知らせ(ボランティア活動保険等) ・相談窓口 ・ご寄付ご寄贈の報告
8	・PHOTO 社協 写真で見る社協事業(一人暮らし高齢者交流事業、フードバンクへの食品寄贈等)	・PHOTO 社協 写真で見る社協事業(秋のボランティア体験、ふくし出前講座・ふくし共育出前講座等)	・PHOTO 社協 写真で見る酒田市社協(災害ボランティア研修、(株)チャンピオン酒田店買い物支援等)
折込			赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金への協力法人等

ラジオ番組「社協ほのぼのタイム」の放送

○放送局 酒田エフエム放送株式会社 ハーバーラジオにて

○放送日 4～6月までの第1日曜日午前9時15分より(再放送 第3日曜日同時刻)

令和2年度放送内容	
4月放送分	酒田市ボランティア・公益活動センターについて
5月放送分	生活自立支援センターさかた
6月放送分	新型コロナウイルス感染症の社協相談窓口について

顕彰事業

令和2年度酒田市社会福祉協議会表彰式

- 日時 令和2年11月25日(水) 午前11時～
- 場所 酒田市総合文化センター ホール
- 表彰者 老人クラブ活動1名、民生委員児童委員活動3名、遺族会活動1名、母子福祉活動1名、福祉協力員活動9名、ボランティア活動2名1団体
計17名1団体
- 感謝状 地域福祉活動協力者7名1団体

令和2年度山形県・県民福祉大会表彰式 ※中止

- 表彰者 県知事表彰・感謝状
民生委員・児童委員功労者4名(表彰状)
社会福祉事業従事者等4名(表彰状)、
民生員・児童委員の配偶者1名(感謝状)
計9名
大会会長表彰
民生委員・児童委員功労者8名、一般社会福祉事業関係功労者9名、
計17名

戦没者追悼式の開催

令和2年度酒田市戦没者追悼式 ※中止

9 法人運営、施設管理

自主財源の確保

	社協会費				寄付金	合計
	個人会費	団体会費	特別会費	計		
R 2	28,398 世帯	48 団体	319 人	28,765 件	41 件	28,806 件
	14,199,000 円	160,000 円	478,500 円	14,837,500 円	1,009,035 円	15,846,535 円
R 1	28,672 世帯	48 団体	318 人	29,038 件	48 件	29,086 件
	14,336,000 円	160,000 円	477,000 円	14,973,000 円	1,594,671 円	16,567,671 円

施設管理

(1) 地域福祉センター

		R1 年度実績	R2 年度実績	比較 R2/ R1
電 気	使用量 (kwh)	46,238	42,808	92.6%
	金額 (円)	1,319,814	1,244,126	
灯 油	使用量 (ℓ)	8,200	9,954	121.3%
	金額 (円)	767,880	791,098	
ガ ス	使用量 (m ³)	153.6	137.7	89.6%
	金額 (円)	73,505	63,741	
水 道	使用量 (m ³)	711.0	638.0 +3月	104.1%
	金額 (円)	427,812	400,800 +3月	

事業所安全衛生委員会

(1) 委員会開催概要

開催日	主 な 協 議 内 容
4月16日	・年間計画について
6月18日	・新型コロナウイルス完成対策及び熱中症予防について (衛生管理者・保健師 川崎美穂氏)
7月16日	・職場の交通安全について (酒田警察署交通課交通安全係)
9月17日	・心肺蘇生法・AEDについて (日赤県支部派遣指導員による講習)
10月17日	・健康診断結果について (産業医・渡邊医師)
12月17日	・脂質異常症の防止及びウイルス感染対策について (衛生管理者・保健師 川崎美穂氏)
1月16日	・健康チェックのための冊子を配布
2月20日	・年休の取得状況と休憩時間について

酒田市地域福祉センターと八幡やまゆり荘の管理・運営

(1) 酒田市地域福祉センター

区分 月	貸館利用数						1日 平均	開館日数
	有 料		無 料		合 計			
	件	人	件	人	件	人	人	日
4	0	0	62	336	62	336	11	30
5	0	0	31	292	31	292	9	31
6	0	0	52	601	52	601	20	30
7	0	0	53	613	53	613	20	31
8	0	0	56	536	56	536	17	31
9	0	0	68	713	68	713	24	30
10	0	0	60	663	60	663	21	31
11	0	0	63	641	63	641	21	30
12	0	0	32	270	32	270	10	28
1	0	0	37	408	37	408	15	28
2	0	0	53	647	53	647	23	28
3	0	0	78	882	78	882	28	31
合計	0	0	645	6,602	645	6,602	18	359
前年度合計	0	0	984	13,959	984	13,959	39	360

(2) 老人福祉センター「やまゆり荘」

月	区分	回 数	人 数
4		14	18
5		15	19
6		13	17
7		12	16
8		6	6
9		10	23
10		17	75
11		10	40
12		6	7
1		7	8
2		10	15
3		17	89
合 計		137	333
前年度合計		153	794

酒田市福祉バス・日赤福祉バス運行状況

(1) 酒田市福祉バス運行状況

運行日数	38 日	内訳	市 内	391 人 (22 回)
運行回数	38 回		庄 内	174 人 (10 回)
総利用人数	659 人		県 内	94 人 (6 回)
			県 外	0 人 (0 回)

種別 月	初修会	施設見学	寄附	送 迎	社会給付	その他	訓練	国外研修	合 計
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	2	0	0	0	0	0	0	2
8	0	2	1	0	1	0	0	0	4
9	2	2	0	1	0	0	0	2	7
10	0	4	0	3	0	0	0	6	13
11	2	0	3	2	0	0	0	0	7
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	1	0	0	0	0	1
2	0	0	0	2	0	0	0	0	2
3	0	1	0	0	1	0	0	0	2
計	4	11	4	9	2	0	0	8	38
前年度計	50	0	12	10	6	0	0	5	83

※ 新型コロナウイルス感染拡大のため、4・5月運行中止

(2) 酒田市日赤福祉バス運行状況

運行日数	19 日	内訳	市 内	138 人 (12 回)
運行回数	19 回		庄 内	22 人 (2 回)
総利用人数	211 人		県 内	51 人 (5 回)
			県 外	0 人 (0 回)

種別 月	初修会	施設見学	寄附	送 迎	社会給付	その他	訓練	国外研修	合 計
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	1	0	0	0	0	1
8	0	0	0	1	0	0	0	0	1
9	0	2	0	2	0	0	0	0	4
10	1	1	1	1	0	0	0	1	5
11	0	0	0	2	0	0	0	0	2
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	2	0	0	0	0	2
2	0	0	0	2	0	0	0	0	2
3	0	1	0	1	0	0	0	0	2
計	1	4	1	12	0	0	0	1	19
前年度計	40	3	15	43	11	0	0	12	124

(3)令和2年度 団体別福祉バス・日赤福祉バス利用状況

単位:日

団 体 名	福祉バス		日赤福祉バス	
	利用日数	人数	利用日数	人数
老 人 ク ラ ブ	1	21	1	22
民生児童委員協議会連合会	3	43	0	0
母 子 寡 婦 福 祉 会	1	13	0	0
ボランティア連絡協議会	1	21	0	0
遺 族 会	1	20	1	10
法 人 保 育 園	9	169	1	11
自治会連合会・各自治会	3	53	0	0
学区社協・コミュニティ振興会	12	206	6	64
保護司会・更生保護女性会	0	0	2	22
市 社 会 福 祉 協 議 会	5	80	7	72
障 がい 者 施 設 ・ 団 体	1	18	0	0
そ の 他	1	15	1	10
合 計	38	659	19	211
前 年 度 計	82	2,696	124	2,451

令和2年度分八幡やまゆり号利用状況

運行日数	16 日	内 訳	市内	203 人	15 回
運行回数	16 回		庄内	10 人	1 回
総利用人数	213 人		県内	0 人	0 回
			県外	0 人	0 回

(単位：日)

種別 月	研修会	施設視察	学習会 交流会	送迎	総会	合計
4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	1	0	1
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0
10月	1	0	0	5	0	6
11月	0	0	0	3	0	3
12月	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	2	0	2
2月	0	0	0	1	0	1
3月	0	0	0	3	0	3
計	1	0	0	15	0	16

令和2年度 やまゆり号利用状況

団 体 名	日 数
ミニデイサービス	9
サロン	0
各 コ ミ セ ン 事 業	3
な の は な 畑	0
市 学 童 保 育 所	0
社会福祉協議会(支部・地区)	2
民生委員児童委員協議会	0
老人クラブ	1
ボランティア団体	0
障害者関係団体	0
婦人会関係	0
遺族会	1
その他の福祉団体等	0
合 計	16

各支部の運営

(1) 八幡支部

①地域福祉事業

実施年月日	内 容	備 考
令和 2年 11月 10日	* 日向地区支え合い活動実行委員会	日向コミセン
3年 1月 30日	* 日向ささえあい除雪ボランティア (第1回)	日向地区
2月 13日	* 日向ささえあい除雪ボランティア (第2回)	日向地区
3月 16日	* サロン世話人代表者研修会	八幡刈センター
3月 22日	* 地域あんしん事業相談員意見交換会	やまゆり荘
令和 2年 10月	* 生きがい活動支援通所事業 37名 (10/8、10/22、10/29)	やまゆり荘
11月	* 生きがい活動支援通所事業 38名 (11/5、11/12、11/19)	やまゆり荘
令和 3年 3月	* 生きがい活動支援通所事業 31名 (3/4、3/11、3/18)	やまゆり荘

②福祉関係団体事業

実施年月日	内 容	備 考
令和 2年 4月 20日	* 八幡遺族会会計監査	やまゆり荘
4月 21日	* 八幡身障更生会会計監査	やまゆり荘
9月 10日	* 山形県千歳山霊苑拝礼式	山形市
10月 14日	* 山形県戦没者追悼式・山形県戦没者遺族大会	酒田市
10月 21日	* 老人クラブグランドゴルフ大会	八森G・C
10月 30日	* 第1回八幡身障更生会役員会	やまゆり荘
令和 3年 2月 16日	* 老人クラブリーダー研修会	鳥海山荘

③共同募金運動&歳末たすけあい募金運動

実施年月日	内 容	備 考
令和 2年 10月 1日	* 戸別募金、歳末たすけあい募金依頼 * 募金箱設置依頼 * 職域募金依頼	自治会長 コミセン等 総合支所等
11月 13日	* 法人募金 (一條地区、大沢地区)	15か所
11月 17日	* 法人募金 (観音寺地区、日向地区)	33か所
12月 22日	* 歳末たすけあい激励金配布	八幡刈センター

(2) 松山支部

①地域福祉事業&福祉教育事業

実施年月日	内 容	備 考
令和2年 10月 7日	* 松山健康福祉センター防災訓練	健康福祉センター
令和2年 10月24日	* 松山健康フェア	農村改善センター
11月19日	* 高齢者疑似体験	松山小
令和2年 9月から	* 松山いきいきクラブ(全5回)	農村改善センター
令和3年 2月まで	第3水曜日午前10時から11時30分まで	
令和2年 7月から	* おとこかれーくらぶ(全8回)	健康福祉センター
令和3年 3月まで	第3月曜日午前10時から	
3月18日	* 松山健康福祉センター防災訓練	健康福祉センター

②福祉関係団体事業

実施年月日	内 容	備 考
令和2年 7月17日	* 老人クラブ連合会松山支部スポーツレクリエーション大会	里仁館体育館
10月23日	* 老人クラブ連合会松山支部スポーツレクリエーション大会	里仁館体育館
11月20日	* 老人クラブ連合会松山支部福祉講座	農村改善センター
令和3年 2月15日	* 広報「まつかさ」発行	でん六蔵王の森工場
3月25日	* 松山・平田手をつなぐ育成会役員研修会	松嶺コミセン

③共同募金運動&歳末たすけあい募金運動

実施年月日	内 容	備 考
令和2年 10月 1日	* 戸別募金、歳末たすけあい募金依頼	自治会長
~	* 募金箱設置依頼	コミセン等
12月31日	* 職域募金依頼	総合支所
	* 法人募金	20か所

(3) 平田支部

①地域福祉事業&福祉教育事業

実施年月日	内 容	備 考
令和2年 7月10日	* 高齢者疑似体験	田沢小
令和2年4月 ~令和3年3月	* 一人暮らし高齢者世帯等への包括ひらた との合同訪問 延13世帯訪問	

②福祉関係団体事業

実施年月日	内 容	備 考
令和2年 6月14日	* 平田ボランティア連絡協議会総会	やまもと交流C
7月22日	* 老人クラブグラウンドゴルフ大会	高畑グラウンド
10月12日	* 身障協あいあいサロン	海洋センター
10月14日	* 山形県戦没者追悼式・遺族大会	酒田市民会館
11月 8日	* 平田ボランティア連絡協議会全体研修会	やまもと交流C
11月19日	* 老人クラブ公式ワナゲ大会	海洋センター
11月21日	* 老人クラブ女性部研修会	やまもと交流C
令和3年 3月10日	* 身障協あいあいサロン	やまもと交流C
令和2年7月～ 令和3年3月	* 老人クラブ健康づくり教室 毎月第1・3月曜日実施 4～6月、12～1月は中止	ひらたゆセンター

③共同募金運動&歳末たすけあい募金運動

実施年月日	内 容	備 考
令和2年 10月 1日	* 戸別募金、歳末たすけあい募金依頼	自治会長
～	* 募金箱設置依頼	コミセン等
12月31日	* 職域募金依頼	総合支所等
	* 法人募金	29か所

市社協機関会議等の開催

(1) 正副会長会議

① 第1回正副会長会議（令和2年5月13日）

協議案件

1. 5月22日（金）開催予定の酒田市社会福祉協議会理事会提出議題について
2. 6月18日（金）開催予定の酒田市社会福祉協議会評議員会提出議題について
3. 山形県共同募金会酒田市共同募金委員会運営委員会（5/22）・審査委員会（6/18）提出議題について
4. その他

② 第2回正副会長会議（令和2年12月4日）

協議案件

1. 12月11日（金）開催予定の酒田市社会福祉協議会理事会提出議題について ※1月13日（水）に変更
2. 12月22日（火）開催予定の酒田市社会福祉協議会評議員会提出議題について ※1月21日（木）に変更
3. 山形県共同募金会酒田市共同募金委員会運営委員会（12/11）提出議題について
4. その他

③ 第3回正副会長会議（令和3年3月3日）

協議案件

1. 3月12日（金）開催予定の酒田市社会福祉協議会理事会提出議題について
2. 3月26日（金）開催予定の酒田市社会福祉協議会評議員会提出議題について
3. 山形県共同募金会酒田市共同募金委員会（3/12）・審査委員会（3/26）提出議題について
4. その他

(2) 理事会

① 第1回理事会（令和2年5月22日）※省略決議

議事

第1号議案 令和元年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算（第3号）の専決処分について

第2号議案 令和元年度酒田市社会福祉協議会資金収支決算について

- 第3号議案 酒田市社会福祉協議会理事の選任候補者の選任について
第4号議案 酒田市社会福祉協議会令和元年度第1回評議員会の招集について

② 第2回理事会（令和2年6月26日）※省略決議

議 事

- 第1号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会副会長の選定について
第2号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会常務理事の選定について
第3号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会苦情解決責任者の任命について

③ 第3回理事会（令和3年1月13日）

議 事

- 第1号議案 令和2年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)の専決処分について
第2号議案 酒田市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正の専決処分について
第3号議案 酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)について
第4号議案 酒田市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
第4号議案 酒田市社会福祉協議会令和2年度第2回評議員会の招集について

④ 第4回理事会（令和3年3月12日）

議 事

- 第1号議案 令和2年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算書(第3号)について
第2号議案 令和3年度酒田市社会福祉協議会事業計画について
第3号議案 令和3年度酒田市社会福祉協議会資金収支予算について
第4号議案 酒田市社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について
第5号議案 酒田市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について
第6号議案 酒田市社会福祉協議会役員等賠償責任保険契約締結について
第7号議案 酒田市社会福祉協議会令和元年度第3回評議員会の招集について

(3) 評議員会

① 第1回評議員会（令和2年6月18日）※省略決議

議 事

- 第1号議案 令和元年度酒田市社会福祉協議会事業報告について
- 第2号議案 令和元年度酒田市社会福祉協議会資金収支決算について
- 第3号議案 酒田市社会福祉協議会理事の選任候補者の選任について

② 第2回評議員会（令和3年1月21日）

議 事

- 第1号議案 酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について
- 第2号議案 酒田市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正の専決処分について
- 第2号議案 酒田市社会福祉協議会職資金収支補正予算(第2号)について

③ 第3回評議員会（令和3年3月26日）

議 事

- 第1号議案 酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算（第3号）について
- 第2号議案 令和3年度酒田市社会福祉協議会事業計画について
- 第3号議案 令和3年度酒田市社会福祉協議会資金収支予算について
- 第4号議案 酒田市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について
- 第5号議案 酒田市社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について

(4) 専門部会

① 総務財政部会

第1回総務財政部会

- 日 時 令和2年11月27日（金）午前10時
- 場 所 酒田市地域福祉センター
- 内 容 ○ 令和2年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)について
- 職員給与規程一部改正の専決処分について
- 総務課所管事業(事務)の進捗状況について

第2回総務財政部会

- 日 時 令和3年2月25日（木）午後1時30分
- 場 所 酒田市地域福祉センター
- 内 容 令和2年度社会福祉法人酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第3号)について
- 令和3年度酒田市社会福祉協議会事業計画について
- 令和3年度酒田市社会福祉協議会資金収支予算について

② 地域福祉・ボランティア部会

第1回地域福祉・ボランティア部会

日 時 令和2年12月1日(火)

内 容 ○ 地域福祉事業及びボランティア事業の進捗状況について
※コロナ感染予防により書面報告

第2回地域福祉・ボランティア部会

日 時 令和3年2月26日(金)午前10時00分

場 所 酒田市地域福祉センター

内 容 ○ 副部会長の選任
○ 令和3年度地域福祉課所管事業計画(案)について
○ 第4期地域福祉活動計画について
○ その他

③ 介護保険部会

第1回介護保険部会

日 時 令和2年11月26日(木)午前10時

場 所 酒田市地域福祉センター

内 容 ○ 令和元年度介護サービス事業収支決算及び令和2年度の収支状況について
○ 新型インフルエンザ等発生時における事業継続計画について
○ 介護事業所における新型コロナウイルス感染拡大防止対策について(新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の活用含む)

第2回介護保険部会

日 時 令和3年3月1日(月)午後1時30分

場 所 酒田市地域福祉センター

内 容 ○ 介護サービス課の事業計画について
○ 災害時における業務継続計画について

④ 共同募金部会

第1回共同募金部会

日 時 令和2年9月18日(金)午前10時

場 所 酒田市地域福祉センター

内 容 ○ 令和2年度共同募金助成について
○ 令和2年度共同募金・歳末たすけあい募金目標について
○ 令和2年度共同募金運動の日程について

第2回共同募金部会 ※中止(資料送付)

日時 令和2年12月2日(水)午後1時30分

場所 酒田市地域福祉センター

内容 ○ 令和2年度歳末たすけあい激励金助成計画(案)について
○ 令和2年度共同募金収納状況について

第3回共同募金部会

日時 令和3年2月26日(水)午後1時30分

場所 酒田市地域福祉センター

内容 ○ 令和2年度山形県共同募金会酒田市共同募金委員会収支補正
予算(第1号)(案)について
○ 令和3年度山形県共同募金会酒田市共同募金委員会事業計画
(案)について
○ 令和3年度山形県共同募金会酒田市共同募金委員会資金収支
予算書(案)について
○ 令和3年度山形県共同募金会酒田市共同募金委員会助成計画
(案)について
○ 令和2年度共同募金・歳末たすけあい募金の実績について
(報告)

(5) 監査

日時 令和2年5月11日(月)午前10時

場所 酒田市地域福祉センター 2階 中会議室

内容 ○ 令和元年度の事業報告書、貸借対照表、財産目録、一般会計
資金収支決算書等の監査

(6) 各種研修会等

- ① 自治会長研修・説明会
- ② コミュニティ振興会長並びに事務担当者研修・説明会
- ③ 八幡支部福祉推進員研修・説明会
- ④ 松山支部福祉推進員研修・説明会
- ⑤ 平田支部福祉推進員研修・説明会

※ ①～⑤新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑥ (自治連) 新自治会長研修会

日時 令和2年7月28日(火)午後1時30分

場所 酒田市地域福祉センター

内容 ○ 自治会の今について
○ 酒田市社会福祉協議会の概要について

⑦ 名学区・地区社協代表者会議（説明会）

日 時 令和3年3月5日（金）午前11時
令和3年3月9日（火）午前11時
令和3年3月11日（金）午前11時

※ 3回に分けて実施

場 所 平田農村環境改善センター（3/5）
酒田市地域福祉センター（3/9、3/11）

内 容 ○ 「新・草の根事業」に係る手続き関係
○ 第4期酒田市地域福祉活動計画と意見聴取会の開催のお願いについて